

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
<https://japan.otakaranews.com>

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！



NEW TOOL INFORMATION

高剛性なセルフクランプ機構を採用した 深溝・突切り用工具「AddForceCut」新登場 深溝加工でも驚異的な信頼性と安定性を発揮

最新溝入れ工具 「AddForceCut」

タンガロイは、安定性の高い深溝・突切り加工用工具「AddForceCut(アド・フォース・カット)」を9月22日より発売した。

「AddForceCut」は、1コーナ仕様のインサート及び高剛性セルフクランプ機構により、深溝や突切り加工に対し優れた切りくず排出性を発揮する。

最大突切り径 φ120mmが可能

「AddForceCut」は、2コーナ仕様の

インサートがインサート長さによって最大溝深さや突切り径が制限されるのに対し、AddForceCutは1コーナ仕様のインサートを採用しているため、最大突切り径φ120mmの加工を可能にする。

3点クランプにより 高いクランプ剛性

同工具は、形状を最適化したインサートポケットが上側一か所、下側二か所の3点クランプによりインサートを確実に保持し、高いクランプ剛性を確保する。下側に設けたストッパー部分で溝加工時の切削抵抗(送り分力)を確実に

に受止め、インサートの動きを抑制する。

また、インサート上側のクランプ形状は、インサートのすくい面形状から連続した形に設計する事で切りくずの流れが非常にスムーズになり、チップブレーカ性能との相乗効果で、深溝加工でも安定した切りくず排出を実現する。

QGMとQGSの2種類の チップブレーカを設定

さらにインサートは、2～5mmの溝幅に対応し、QGMとQGSの2種類のチップブレーカを設定した。

QGM形は、幅広い被削材で安定した

切りくず処理性を発揮する汎用タイプ。一方QGS形は、切れ味の良い低抵抗形で、ステンレス鋼などの溝入れ加工で威力を発揮する。

深溝や突切り加工で 安定した高能率加工

また、ホルダは、汎用性の高い一体型、深溝・突切り加工が可能なブレードタイプのほか、防振機構を備えた深穴加工用工具「BoreMeister」シャンクに装着可能な内径溝加工用ヘッドも設定している。

さらに、高剛性ホルダ機構により圧倒的な高能率加工を可能とした「TungFeed-Blade」もラインアップした。しかも、「AddForceCut」用の「TungFeed-Blade」は最大加工径φ120mmまで対応する。インサートは全てのホルダの種類に対応する。

新製品の「AddForceCut」は、クランプ剛性の高いホルダと高性能インサートを組合せることで、深溝や突切り加工において安定した高能率加工を実現する。

■主な形番、標準価格

QGM2-020 AH7025
1,330円(税込 1,463円)。
QGS5-030 AH7025
1,670円(税込 1,837円)。
QSER2525-3T33
17,100円(税込 18,810円)。
QSP32-3D
17,900円(税込 19,690円)。
QSG120-5T
23,100円(税込 25,410円)。
計34アイテム。

※製品の詳細については、下記URLを参照。



■タンガロイURL→ <https://subs.tungaloy.com/jp/>